

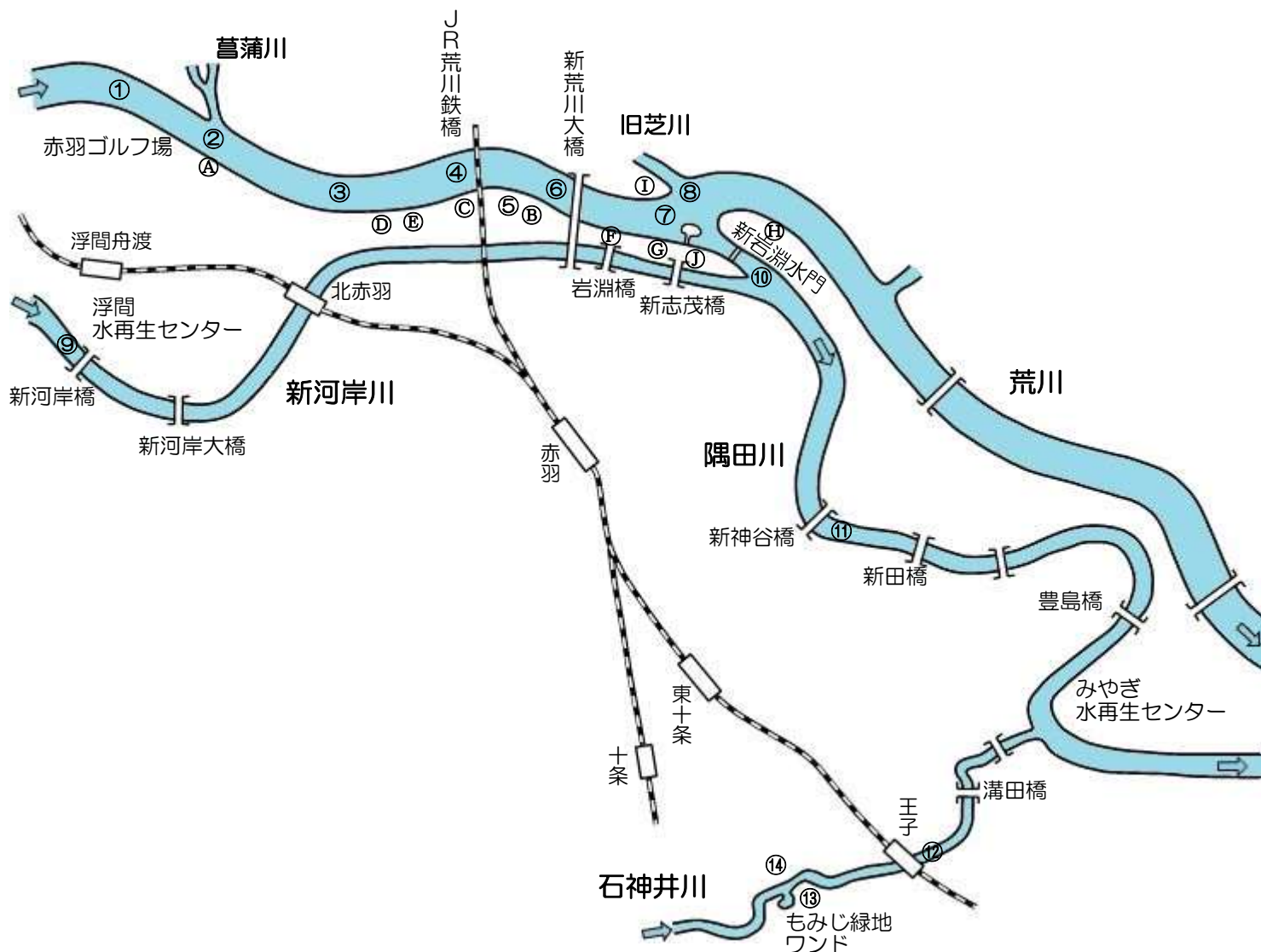
第36回
北区河川生物生息調査
報告書
令和元年度



令和2年3月
北 区

北区河川生物生息調査地点図（令和元年度）

釣り調査地点 A～J
投網調査地点 ①～⑭



投網調査地点

◎令和元年 9 月 12 日 ☆9 月 30 日 ★10 月 7 日

[荒川]

- ☆-①戸田橋下流
- ★-②菖蒲川荒川合流点付近
- ☆★-③JR 荒川鉄橋上流 200-400m 付近
- ☆-④JR 荒川鉄橋下
- ◎-⑤荒川子どもの水辺ワンド（流水路も含む）
- ☆-⑥新荒川大橋下
- ☆★-⑦新荒川大橋下流 600-800m 付近
- ☆-⑧旧芝川荒川合流点付近

[新河岸川]

- ★-⑨浮間水再生センター排水口付近

[隅田川]

- ☆-⑩新岩淵水門下流
- ☆-⑪新神谷橋付近

[石神井川]

- ☆-⑫石神井川王子駅下トンネル内
- ◎-⑬もみじ緑地ワンド
- ◎-⑭もみじ緑地ワンド横本流

釣り調査地点

令和元年 10 月 7 日

[荒川]

- A 菖蒲川荒川合流点右岸
 - B 荒川子どもの水辺ワンド
 - C JR 荒川鉄橋上流 20m 付近右岸
 - D JR 荒川鉄橋上流 200m 付近右岸
 - E JR 荒川鉄橋上流 150m 付近右岸
 - F 新荒川大橋下流 150m 付近右岸
 - G 新荒川大橋下流 500m 付近右岸
 - H 新荒川大橋下流 1000m 付近荒川右岸
 - I 旧芝川荒川合流点
- [新河岸川]
- J 新志茂橋付近左岸

は じ め に

私たちの住む北区には、荒川をはじめ隅田川・新河岸川・石神井川の4河川が流れています。川は、昔から人々と深いかわりを持ち、まちの産業・文化の発展に大きな役割をはたしてきました。また、豊かな流れと美しい自然の景観も多くの恵みをもたらしてくれました。

しかし、戦後の産業経済の発展と急速な都市化の進行にともない、川は、工場排水や生活排水により著しく汚れてしまいました。なかには、一時期、悪臭がして魚も棲めないため、「死の川」と呼ばれた川もあったほどです。さらに、治水対策として垂直のコンクリート護岸がつくられ、人々をますます水辺から遠ざけてしまいました。

このように川が下水に近くなった時代から、近年は汚濁発生源に対する規制の強化と下水道整備等により、水質は良くなってきました。また、河川環境の整備も進み、各種の魚も見られるようになって、川は再び憩いの水辺として甦りつつあります。

しかし、魚などの水生生物が安定して棲め、誰もが安らぎやうるおいを得られる川としては、河川の構造改善、水質・流量の安定など、まだまだ多くの課題があります。さらなる水質改善や水辺環境の向上を図るには、区が各種の施策を積極的に推進することはいうまでもありませんが、区民の方々にも河川に対する強い関心を持っていただき、多方面からの対策を展開することが必要です。

区では、化学分析による水質調査だけではなく、河川の魚類生息状況を調査し、推移をみることにより河川環境を判断することを目的として、昭和59年度から「河川生物生息調査」を継続実施しています。この報告書は、令和元年度に実施した第36回調査の結果をまとめたものです。誰にでも親しめる水辺環境の実現に向けて、区民の方々に河川の水質や環境に対する理解を深めていただくための参考となれば幸いです。

なお、当調査にご協力いただいた北区釣魚連合会、淡水魚類研究者の君塚芳輝氏、一澤成典氏、並びに関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

【調査概要】

北区内の河川に生息している魚類を把握するために、9月12日、9月30日、10月7日の3回に分けて魚類調査を行いました。採集した魚は、種・亜種（以下種類とする）の同定、個体数、全長と標準体長（最少～最大）の測定を行いました。

第1回調査は令和元年9月12日に、石神井川もみじ緑地ワンドと荒川子どもの水辺ワンドで、歩いての投網・手網による調査をしました。石神井川もみじ緑地ワンドでは、直前にワンド内の水を本流に排水し、魚の採集がしやすい状態で調査をしました。また、ワンド横の石神井川本流においても投網・手網による調査をしました。

第2回調査は令和元年9月30日に、荒川・隅田川・石神井川で、船からの投網による調査をしました。

第3回調査は令和元年10月7日に、荒川・荒川子どもの水辺ワンド・新河岸川で、北区釣魚連合会の協力による釣りと、荒川・新河岸川で船からの投網による調査をしました。

採集した一部の魚については、可食部の総水銀とPCBの含有量について魚肉分析をしました。

	調査日	調査項目	調査方法	調査場所
第1回	9月12日	魚類生息状況	歩いての投網・手網	石神井川・石神井川もみじ緑地ワンド 荒川子どもの水辺ワンド
第2回	9月30日	魚類生息状況	船からの投網	荒川 隅田川 石神井川
第3回	10月7日	魚類生息状況 魚肉分析	釣り 船からの投網	荒川・荒川子どもの水辺ワンド 新河岸川

〔石神井川もみじ緑地ワンド（音無もみじ緑地）〕

すり鉢状の護岸構造のため川岸近くまで降りることができます。川に面してワンドが設けられ、本流の流水環境に対して静水環境を付加することで、河川の構造的環境の多様性を高めています。ワンドの中央には水生植物などが繁茂し、増水時に川から入ってきた魚が繁殖しやすいようになっています。



〔荒川子どもの水辺ワンド（北区・子どもの水辺）〕

JR荒川鉄橋と新荒川大橋の間に挟まれた高水敷に、ワンドのある自然地「北区・子どもの水辺」が整備されています。維持管理や調査は、地域のボランティアの方々の熱心な活動に支えられ、良好な生態系の保持と多世代にわたる人々の自然環境学習の場として利用されています。国土交通大臣表彰の「平成26年度手づくり郷土賞」一般部門に選定されています。



【調査結果】

3日間の調査で確認された魚類は30類639尾で、例年に比べ種類数と個体数がやや少ない結果となりました。新たに1種類の魚類（カワムツ）が確認され、調査を始めてから今までに確認された魚種は59種類となりました。

東京都レッドリスト記載種は9種類、環境省レッドリスト記載種は4種類、外来種は5種類確認されました。魚種の内訳は、淡水魚種と海水・汽水性魚種であり、広い範囲が汽水域や感潮域である北区内河川の特徴を表しています。

石神井川もみじ緑地ワンドで確認されたアブラハヤ・カワムツ・シマドジョウ・メダカは、元々この川には生息せず流れ分布も異なるため、人為的放流によるものと考えられます。人為的放流は地域に形成された生物相や生態系に様々な影響を及ぼす可能性があるので行うべきではありません。

令和元年度調査で新たに確認した魚

科・種名	情報	写真
コイ目コイ科 カワムツ	本来は中部地方以西に天然分布している魚で、他の放流魚に混じって分布を広げた国内移殖種である。都内では既に1970年代から採集の記録がある。	 令和元年9月12日（第1回調査） 場所：石神井川もみじ緑地ワンド 調査方法：手網

情報提供：君塚芳輝氏



ワンド調査の様子（石神井川もみじ緑地ワンド）



船からの投網

【河川別個体数】

各河川において確認された種類と個体数は以下のとおりです。

番号	目名	科名	標準和名	荒川		隅田川	新河岸川	石神井川		合計	備考
				荒川	子どもの水辺ワンド			石神井川	もみじ緑地ワンド		
1	ニシン	ニシン	サッパ	1						1	
2			コノシロ	19							19
3	コイ	コイ	タモロコ						8	8	国内移殖種
4			モツゴ		39				11	50	
5			ニゴイ	4		1				5	
6			アブラハヤ					3	44	47	国内移殖種※
7			マルタ			3		2		5	
8			カワムツ						8	8	国内移殖種※
9			オイカワ		2			1	101	104	
10			ギンブナ	6	9	1			10	26	
11			ゲンゴロウブナ	1		2				3	国内移殖種
12			コイ		1				2	3	
13			タイリクバラタナゴ		30					30	外来種
14			ドジョウ	ドジョウ					7	35	42
15		シマドジョウ							4	4	国内移殖種※
16	ダツ	メダカ	メダカ*					2		2	国内移殖種※
17	カダヤシ	カダヤシ	カダヤシ		42			2		44	特定外来種
18			グッピー						41	41	外来種
19	ボラ	ボラ	ボラ	31	13	1	1			46	
20	スズキ	スズキ	スズキ	20	7	1	1	2		31	
21		サンフィッシュ	ブルーギル	2	4					6	特定外来種
22			オオクチバス	1						1	特定外来種
23		ヒイラギ	ヒイラギ	14		6				20	
24		シマイサキ	シマイサキ			1				1	
25		ハゼ	アベハゼ		4					4	
26			クロダハゼ		1					1	
27			ヌマチチブ		44		7			51	
28			シモフリシマハゼ		8		1			9	
29			マハゼ	14	8		2			24	
30			アシシロハゼ		3					3	
6目11科30種			種類数	11	15	8	5	7	10	30	
			個体数合計	113	215	16	12	19	264	639	

※国内他水域からの人為的放流の可能性が高い

*東京都では野生個体群が絶滅状態なので、人為的な放流と思われる

【外来種・国内移殖種の確認状況】

「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（外来生物法）」で特定外来生物と指定された種及び「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト（生態系被害防止外来種リスト）」に記載された外来種を「外来種」としました。

特定外来生物に指定されているカダヤシは在来メダカとの棲息場所や餌の競合が懸念されています。ブルーギルは小型魚類などを捕食するため、在来生物群集に対する影響が懸念されています。

目名	科名	標準和名	荒川	隅田川	新河岸川	石神井川	特定外来生物	生態系被害防止外来種リスト
コイ	コイ	タイリクバラタナゴ	○					●
カダヤシ	カダヤシ	カダヤシ	○			○	●	●
		グッピー				○		●
スズキ	サンフィッシュ	ブルーギル	○				●	●
		オオクチバス	○				●	●

【絶滅危惧種等の確認状況】

環境省レッドリスト2019及び東京都レッドリスト(2010年版)の選定基準で指定されている種。
東京都レッドリストは区部の評価を基準としました。

目名	科名	種名	荒川	隅田川	新河岸川	石神井川	東京都 レッドリスト	環境省 レッドリスト	移殖種
コイ	コイ	ニゴイ	○	○			準絶滅危惧		
		アブラハヤ*				○	絶滅危惧Ⅱ類		○
		マルタ		○		○	留意種		
		ギンブナ	○	○		○	絶滅危惧Ⅰ類	絶滅危惧Ⅱ類	
		ゲンゴロウブナ	○	○				絶滅危惧ⅠB類	○
	ドジョウ	ドジョウ				○		準絶滅危惧	
		シマドジョウ*				○	絶滅危惧Ⅱ類		○
ダツ	メダカ	メダカ*				○	絶滅危惧Ⅰ類	絶滅危惧Ⅱ類	○
スズキ	ハゼ	アベハゼ	○				準絶滅危惧		
		ヌマチチブ	○		○		留意種		
		アシシロハゼ	○				留意種		

※荒川水系に天然分布する魚種ではあるが、流域分布からみて国内他水域からの人為的放流の可能性が高い

*東京都では野生個体群が絶滅状態なので、人為的な放流と思われる

「東京都の保護上重要な野生生物種（本土部）～東京都レッドリスト～2010年版」（東京都環境局）

絶滅危惧Ⅰ類：現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、野生での存続が困難なもの

絶滅危惧Ⅱ類：現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧Ⅰ類」のランクに移行することが確実に考えられるもの

準絶滅危惧：現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を有するもの

留意種：現時点では絶滅のおそれはないと判断されるため上記カテゴリーには該当しないが、留意が必要と考えられるもの

「環境省レッドリスト2019【汽水・淡水魚類】」

絶滅危惧ⅠA類：ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの

絶滅危惧ⅠB類：ⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの

絶滅危惧Ⅱ類：絶滅の危険が増大している種

準絶滅危惧：現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種。

【魚肉分析結果】

採集した魚類の中から6検体を選び、可食部に含まれている総水銀と PCB の量を分析しました。その結果、全検体で総水銀と PCB が検出されましたが、暫定規制値以下でした。

令和元年 10 月 7 日採集

	魚類名	捕獲河川名	場所	総水銀	PCB
				mg/kg	mg/kg
1	マハゼ	荒川	JR荒川鉄橋上流20m付近右岸	0.05	0.25
2	ボラ	荒川	JR荒川鉄橋上流150m付近右岸	0.04	0.84
3	マハゼ	荒川	新荒川大橋下流150m付近右岸	0.03	0.18
4	スズキ	荒川	新荒川大橋下流500m付近右岸	0.11	0.40
5	スズキ	荒川	旧芝川荒川合流点	0.14	0.35
6	マハゼ	新河岸川	新志茂橋付近左岸	0.04	0.41

- (備考) 1.総水銀とは水銀及びその化合物をいう。
 2.分析値は全て乾燥試料あたりに換算してある。
 3.分析部位の可食部については、それぞれ数尾の可食部を混合したものである。
 4.暫定的規制値
 ・総水銀…0.4mg/kg (内水面水域の河川産の魚介類については適用外)
 (昭和 48 年 7 月 23 日付厚生省環境衛生局長通知「魚介類の水銀の暫定的規制値について」)
 ・PCB 内海内湾(内水面を含む)魚介類(可食部)…3.0mg/kg
 (昭和 47 年 8 月 24 日付厚生省環境衛生局長通知「食品中に残留する PCB の規制について」)
 5.分析方法：衛生試験方法 2.4 食品汚染物試験法準拠

【資料】

第1回投網・手網調査の結果（令和元年9月12日）

(1)石神井川

もみじ緑地ワンド

	種類	全長(mm)	標準体長(mm)	個体数
1	タモロコ	38~77	30~64	8
2	モツゴ	25~90	21~74	11
3	アブラハヤ	12~92	10~75	44
4	カワムツ	24~38	19~30	8
5	オイカワ	13~82	12~68	101
6	ギンブナ	37~101	27~78	10
7	コイ	72~96	57~78	2
8	ドジョウ	28~129	24~113	35
9	シマドジョウ	38~58	33~47	4
10	グッピー	16~42	13~32	41

もみじ緑地ワンド横本流

	種類	全長(mm)	標準体長(mm)	個体数
1	アブラハヤ	22~30	18~23	3
2	オイカワ	31	25	1
3	ドジョウ	35~116	29~108	7
4	メダカ	25~32	19~23	2
5	カタヤシ	17~22	14~17	2

(2)荒川

荒川子どもの水辺ワンド

	種類	全長(mm)	標準体長(mm)	個体数
1	モツゴ	45~83	34~64	38
2	ギンブナ	24~112	18~88	7
3	コイ	20	17	1
4	タイリクバラタナゴ	140~147	113~118	30
5	カタヤシ	12~40	9~32	21
6	ボラ	61~103	43~84	11
7	ブルーギル	24	18	1
8	アベハゼ	18~23	15~19	4
9	クロダハゼ	22	19	1
10	ヌマチチブ	15~25	12~21	14
11	シモフリシマハゼ	46	36	1
12	マハゼ	117	96	1

荒川子どもの水辺ワンド流出水路

	種類	全長(mm)	標準体長(mm)	個体数
1	モツゴ	76	59	1
2	オイカワ	23~36	20~31	2
3	カタヤシ	23~28	18~22	2
4	ボラ	64~86	51~69	2
5	スズキ	139~150	113~123	7
6	ブルーギル	21~22	17~18	2
7	ヌマチチブ	13~50	11~40	18
8	シモフリシマハゼ	21~35	17~40	4
9	マハゼ	38~114	29~93	7
10	アジシロハゼ	25~41	20~33	3

第2回投網調査の結果（令和元年9月30日）

(1)荒川

戸田橋下流

	種類	全長(mm)	標準体長(mm)	個体数
1	ギンブナ	293~372	239~305	2
2	ヒイラギ	50	42	1
3	マハゼ	105~109	83~87	2

JR荒川鉄橋上流200-400m付近

	種類	全長(mm)	標準体長(mm)	個体数
1	ニゴイ	146	118	1
2	ギンブナ	288	236	1
3	ゲンゴロウブナ	410	315	1
4	ボラ	142	114	1
5	スズキ	140	113	1
6	マハゼ	108~112	89~90	2

JR荒川鉄橋下

	種類	全長(mm)	標準体長(mm)	個体数
1	サッパ	104	84	1
2	コノシロ	95~126	77~100	13
3	ニゴイ	228	186	1

新荒川大橋下

	種類	全長(mm)	標準体長(mm)	個体数
1	コノシロ	152	127	1
2	スズキ	95	77	1

新荒川大橋下流600-800m付近

	種類	全長(mm)	標準体長(mm)	個体数
1	コノシロ	163	132	1
2	ボラ	107	83	1
3	スズキ	148	122	1

旧芝川荒川合流点付近

	種類	全長(mm)	標準体長(mm)	個体数
1	コノシロ	76~100	60~83	4
2	ニゴイ	118	94	1
3	ボラ	99~155	80~126	14
4	スズキ	151	125	1
5	ヒイラギ	38~50	31~42	5

(2)隅田川

新岩淵水門下流

	種類	全長(mm)	標準体長(mm)	個体数
1	ニゴイ	100	82	1
2	マルタ	123~155	100~122	3
3	ギンブナ	169	131	1
4	ボラ	152	125	1
5	スズキ	195	119	1
6	ヒイラギ	27~51	22~42	6
7	シマイサキ	31	25	1

新神谷橋付近

	種類	全長(mm)	標準体長(mm)	個体数
1	ゲンゴロウブナ	359~380	299~308	2

(3)石神井川

石神井川王子駅下トンネル内

	種類	全長(mm)	標準体長(mm)	個体数
1	マルタ	475~508	388~495	2
2	スズキ	313~340	245~277	2

第3回投網調査の結果（令和元年10月7日）

(1) 荒川

菖蒲川荒川合流点付近

	種類	全長(mm)	標準体長(mm)	個体数
1	ギンブナ	143~349	111~285	3
2	ボラ	118~145	95~123	2
3	ヒイラギ	55	44	1
4	マハゼ	118	87	1

JR荒川鉄橋上流200-400m付近

	種類	全長(mm)	標準体長(mm)	個体数
1	ヒイラギ	32~44	26~35	7

新荒川大橋下流600-800m付近

	種類	全長(mm)	標準体長(mm)	個体数
1	ボラ	118~172	94~142	2
2	スズキ	168	133	1
3	マハゼ	125	101	1

(2) 新河岸川

浮間水再生センター排水口付近

	種類	全長(mm)	標準体長(mm)	個体数
1	ボラ	159	124	1
2	スズキ	183	131	1

第3回釣り調査の結果（令和元年10月7日）

(1) 荒川

A. 菖蒲川荒川合流点右岸

	種類	全長(mm)	標準体長(mm)	個体数
1	スズキ	144~171	116~135	2

B. 荒川子ども水辺ワンド

	種類	全長(mm)	標準体長(mm)	個体数
1	ギンブナ	109~115	84~89	2
2	カダヤシ	27~41	22~33	19
3	ブルーギル	61	47	1
4	ヌマチチブ	38~61	30~52	12
5	シモフリシマハゼ	45~55	36~43	3

C. JR荒川鉄橋上流20m付近右岸

	種類	全長(mm)	標準体長(mm)	個体数
1	マハゼ	104~125	83~101	4

D. JR荒川鉄橋上流200m付近右岸

	種類	全長(mm)	標準体長(mm)	個体数
1	スズキ	165	134	1
2	マハゼ	116	100	1

E. JR荒川鉄橋上流150m付近右岸

	種類	全長(mm)	標準体長(mm)	個体数
1	ボラ	156~192	125~158	3
2	ブルーギル	174	140	1

F. 新荒川大橋下流150m付近右岸

	種類	全長(mm)	標準体長(mm)	個体数
1	ボラ	187	152	1
2	スズキ	127~198	99~161	2
3	マハゼ	112	93	2

G. 新荒川大橋下流500m付近右岸

	種類	全長(mm)	標準体長(mm)	個体数
1	スズキ	164~173	134~136	2
2	ブルーギル	170	121	1

H. 新荒川大橋下流1000m付近荒川右岸

	種類	全長(mm)	標準体長(mm)	個体数
1	ニゴイ	594	509	1
2	マハゼ	145	115	1

I. 旧芝川荒川合流点

	種類	全長(mm)	標準体長(mm)	個体数
1	ボラ	148~200	119~17	7
2	スズキ	129~169	113~136	8
3	オオクチバス	227	185	1

(2) 新河岸川

J. 新志茂橋付近左岸

	種類	全長(mm)	標準体長(mm)	個体数
1	ヌマチチブ	50~59	39~49	7
2	シモフリシマハゼ	62	52	1
3	マハゼ	131~140	112~114	2

北区で見られる魚たち 1 ー河川生物生息調査で捕れた種類ー

<1> サッパ



<9> モツゴ



<2> コノシロ



<10> ニゴイ



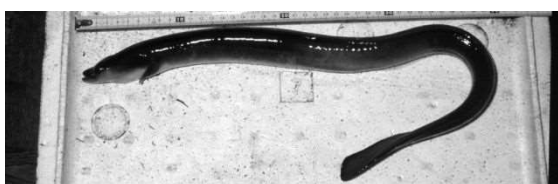
<3> カライワシ



<11> カマツカ



<4> ウナギ



<12> ツチフキ



<5> アユ



<13> アブラハヤ



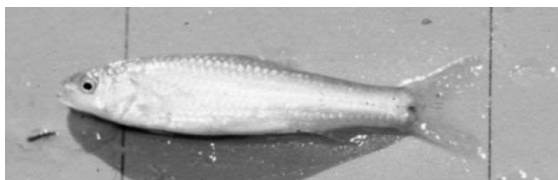
<6> ワカサギ



<14> ウグイ



<7> タモロコ



<15> マルタ



<8> スゴモロコ



<16> カワムツ



北区で見られる魚たち 2 ー河川生物生息調査で捕れた種類ー

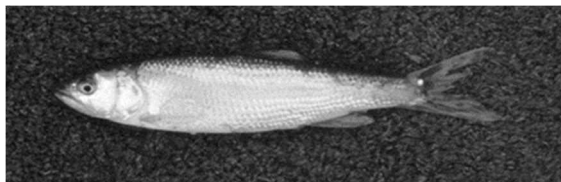
<17> オイカワ



<25> ゲンゴロウブナ



<18> ハス



<26> キンギョ



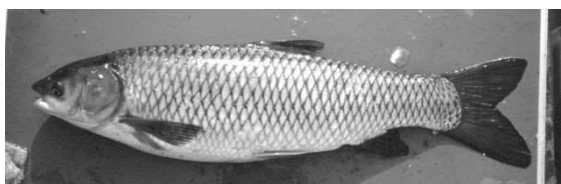
<19> ワタカ



<27> コイ



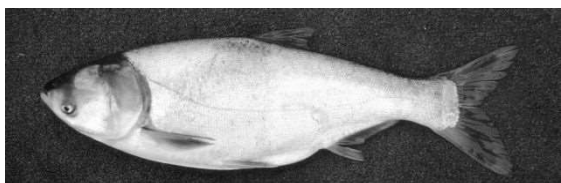
<20> ソウギョ



<28> ヤリタナゴ



<21> ハクレン



<29> アカヒレタビラ



<22> コクレン



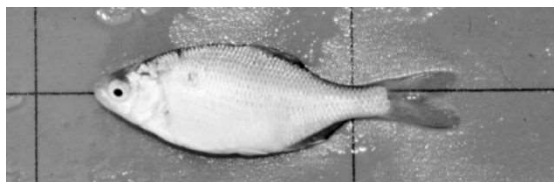
<30> タイリクバラタナゴ



<23> キンブナ



<31> ゼニタナゴ



<24> ギンブナ



<32> ドジョウ



北区で見られる魚たち 3 ー河川生物生息調査で捕れた種類ー

<33> シマドジョウ



<41> カムルチー



<34> ギバチ



<42> スズキ



<35> ナマズ



<43> キチヌ



<36> メダカ



<44> オオクチバス ※特定外来生物



<37> クルメサヨリ



<45> コクチバス ※特定外来生物



<38> カダヤシ ※特定外来生物



<46> ブルーギル ※特定外来生物



<39> グッピー



<47> ヒイラギ



<40> ボラ



<48> シマイサキ



北区で見られる魚たち 4 ー河川生物生息調査で捕れた種類ー

<49> コトヒキ



<50> アベハゼ



<51> ヒナハゼ



<52> クロダハゼ



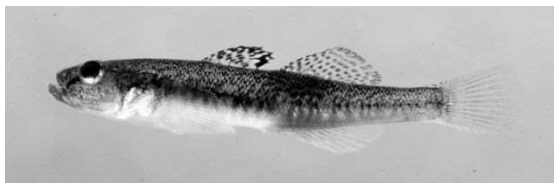
<53> ウロハゼ



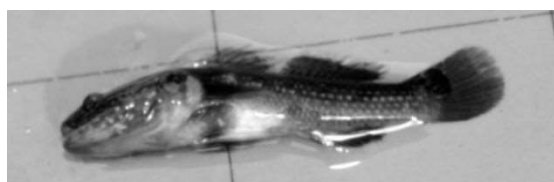
<54> ウキゴリ (淡水型)



<55> ビリンゴ



<56> ヌマチチブ



<57> シモフリシマハゼ



<58> マハゼ



<59> アシシロハゼ



君塚芳輝氏撮影：

1,11,14,16,23,28,33,38,48,49,50,52,55

【年度別捕獲魚類一覧表】

番号	魚 類	S59 年度	S60 年度	S61 年度	S62 年度	S63 年度	H1 年度	H2 年度	H3 年度	H4 年度	H5 年度	H6 年度	H7 年度	H8 年度	H9 年度	H10 年度	H11 年度	H12 年度	H13 年度	H14 年度	H15 年度	H16 年度	H17 年度	H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	
1	サッパ																										19					2	10	2	1			
2	コノシロ												4				29	7		6	1	98	19			91	21	19		39	20	65		2	71	107	19	
3	カライワシ																																		2			
4	ウナギ							2	2	1		6				1			1							1		1		1	2	2	3				1	
5	アユ							1	1																							1						
6	ワカサギ															1	4				1	44	13	4			1		2				6	9				
7	タモロコ									2				1							3		6	12	8	1		11	9	15	11		5	39	12	46	8	
8	スゴモロコ		18	76		1				3		5									1	1	2	4			3	8				4	14		1	1		
9	モツゴ	5	18	9	稚魚	6	1	多数	58	61	72	46	22	149	75	236	507	67	42	19	297	235	192	231	192	189	109	48	50	102	137	31	50	171	89	162	50	
10	ニゴイ	11	9	7	稚魚	2		15	5	16		8	4	5	2	3	7	12	8	8	14	9	14	3	12	7	14	11	24	4	26	7	5	9	9	15	5	
11	カマツカ				1																	1	1															
12	ツチフキ					1																	1										2	1				
13	アブラハヤ																	6		2	11	2	33	121	81	77	202	6	120	68	164	56	298	261	3	353	47	
14	ウグイ	3	1	1	2	1	5	9	4		20																				1		1	1				
15	マルタ						2	1	10	4	3	11	3	5	13	30	7	9		4	28	12	54	7	5	30	66	28		3	23	19	14	37	10	15	5	
16	カワムツ																																				8	
17	オイカワ	1	13	2	稚魚			2					1	1		1	6	2		1			110	31	60	3	90	19	31	35	31	6	113	79	6	50	104	
18	ハス		1	1	6+稚魚	2		1	1	1		6	3	1		1	3			7	1		2			6	2	12	1	1	2	13	1	3	2			
19	ワタカ																	8	2		1				1													
20	ソウギョ	2	3		1																																	
21	ハクレン	42	2		4	2	6		7	3	2	1			1	1	13	3		5	1	1	2	1	2		2		1					2	6	1	1	
22	コクレン							1																														
23	キンブナ						2	7	2		1			11													1		2								1	
24	ギンブナ	22	44	147	20+稚魚	6	19	14	29	31	15	23	22	53	11	12	9	9	9	2	4	5	14	13	74	64	40	36	18	65	26	4	18	37	97	28	26	
25	ゲンゴロウブナ	2	7	8	15	17	13	24	28	6	8	15	3	7	8	1	9	10	22	2	14	14	5	16	7	3	7	5	5	9	3	1	4	3	3	8	3	
26	キンギョ			1					1			1			1							23	1	3	1			13	10		1					1		
27	コイ	43	18	41	15	8	9	3+多数	14	15	7	8	12	15	18	6	10	9	20	9	8	84	4	13	17	7	16	10	10	3	7	3	11	5	8	3	3	
28	ヤリタナゴ																												2									
29	アカヒレタビラ																						1															
30	タイリクバラタナゴ				微小			19				3	2	2	42						1		2	1	2	27	34	53	55	9	14	4	8	11	89	36	30	
31	ゼニタナゴ									1																												
32	ドジョウ							1						2	1	14	19	6		1	11	33	140	23	41	19	22	41	18	7	4	21	40	26	9	168	42	
33	シマドジョウ																															1	8	11	11	33	4	
34	ギバチ																						8	2	1			3	13	4	2	1	4	2	1			
35	ナマズ							1																														
36	メダカ				微小							70		1	20	97		3			2	12	8	4	1			10	2	3	1	2	41	17	3	12	2	
37	クルマサヨリ																													1	2	1						
38	カダヤシ															5						5	3	42	7		6	11	1	1	5	6	4	7	70	6	44	
39	グッピー													1	1							1			9	2			7	4					2	8	41	
40	ボラ		2	5	3	3			1	11	2	7	22	64	62	17	71	41	30	20	22	49	100	72	34	49	61	26	72	16	322	59	50	26	97	15	46	
41	カムルチー										1																6			94	2							
42	スズキ			2	1		2	1	1	2	5	3	8	8	10	4	28	20	17	9	12	10	12	17	28	56	20	27	20	99	106	16	14	46	52	93	31	
43	キチヌ																																	2				
44	ブルーギル				1			3	1			1		1		2						10	13	10	1	16	4	6	7	16	17	6	6	32	7	25	6	
45	オオクチバス																					2	3	5			1						3			1		
46	コクチバス																																1	1				
47	ヒイラギ															1	13		23	2		1				1	2	240	4	45	1	17		6	5	51	20	
48	シマイサキ											2										1			3	2		2	1	1	5					2	1	
49	コトヒキ																											1										
50	アベハゼ																						1	1		2		13		4	43	3		25	23	11	4	
51	ヒナハゼ																																1					
52	クロダハゼ															1	5										2				4		2	1		1	1	
53	ウロハゼ																															1			1			
54	ウキゴリ（淡水型） ウキゴリ（種不明）															1				1	2												2			1		
55	ピリンゴ										2	2		9									2		1							1			1			
56	ヌマチチブ									10		5	2	1	9	7	1	2		6	56	7	71	36	104	24	38	44	20	22	20	82	80	40	29	86	51	
57	シモフリシマハゼ					1		1	1			4	2	6	7	2	1		1			1	4	13	1	2	3	7	1	5	1	7	1	5	10	26	9	
58	マハゼ		35	2	3	83	6	76	27	232	35	146	187	50	192	65	84	38	61	65	60	53	76	30	77	48	39	92	24	166	78	89	25	57	16	28	24	
59	アシシロハゼ															1				1				2	6		2	4		3	2	4	7	2	2	2	2	3
種 類 数 合 計		9	13	13	17	13	10	20	18	16	13	21	15	21	17	21	20	19	11	19	23	25	35	27	28	26	27	30	31	30	33	30	31	36	32	35	30	

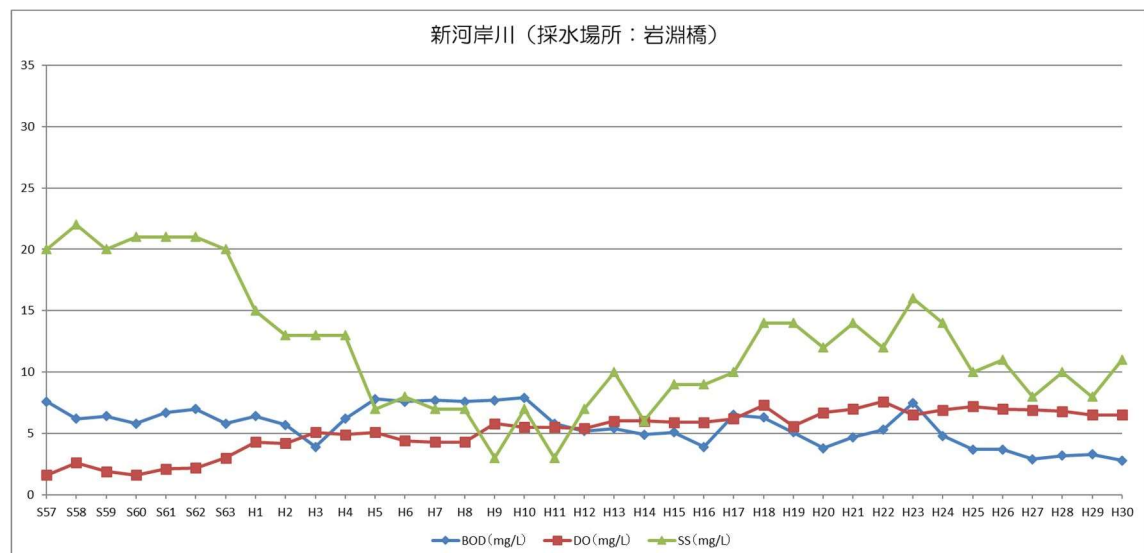
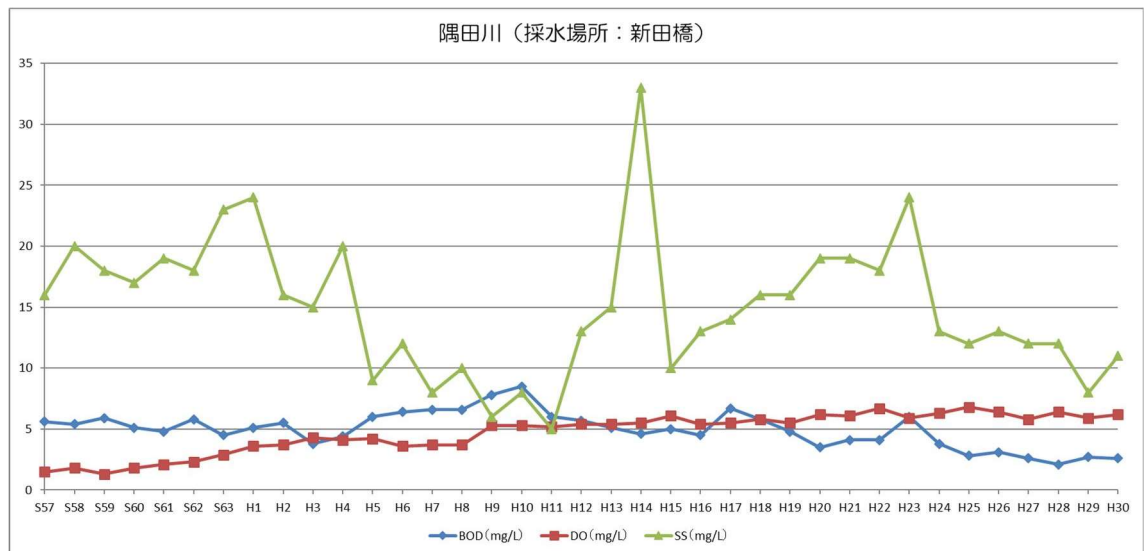
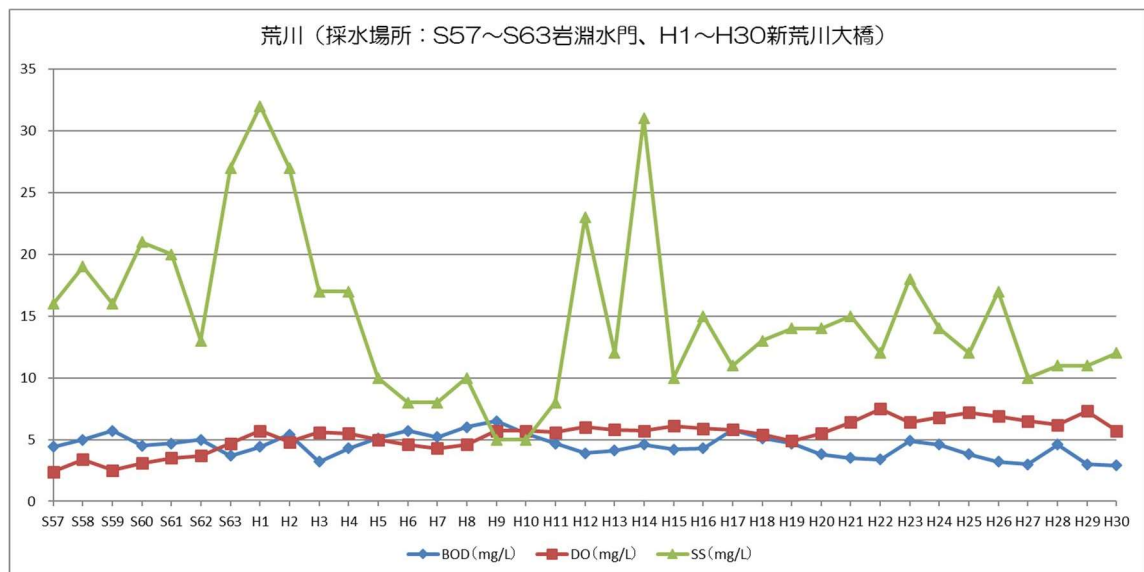
【河川別・年度別捕獲魚類一覽表】

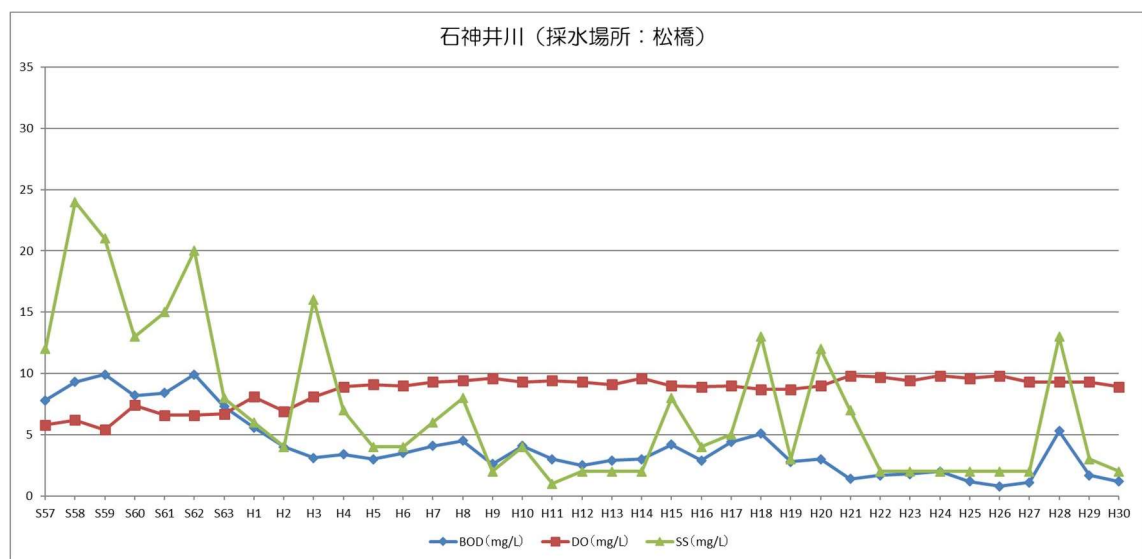
河川名	昭和59年度	昭和60年度	昭和61年度	昭和62年度	昭和63年度	平成元年度	平成2年度	平成3年度	平成4年度	平成5年度	平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度																						
荒 川	オイカワ	1	オイカワ	13	オイカワ	2	オイカワ	種数	ハス	2	ウグイ	4	ウナギ	2	ウナギ	2	ウナギ	1	ハクレン	2	ウナギ	6	ハス	2	ハス	1	マルタ	4	ウナギ	1	ワカサギ	3	ワタカ	8	ウナギ	1	オイカワ	1	ハス	1		
	ウグイ	3	ハス	1	ハス	1	ハス	1	ウグイ	1	マルタ	2	アユ	1	アユ	1	ハス	1	モツゴ	51	ハス	5	マルタ	3	マルタ	3	ハクレン	1	ワカサギ	1	ハス	3	ワタカ	3	ウタカ	2	ハス	7	マルタ	13		
	ソウギョ	2	ウグイ	1	ウグイ	1	ウグイ	2	ハクレン	2	ハクレン	6	オイカワ	2	ハス	1	マルタ	3	コイ	4	マルタ	6	モツゴ	15	モツゴ	4	モツゴ	53	ハス	1	マルタ	5	モツゴ	18	モツゴ	41	マルタ	4	ウタカ	1		
	ハクレン	42	ソウギョ	3	モツゴ	3	ソウギョ	1	モツゴ	4	モツゴ	1	ハス	1	マルタ	1	ハクレン	3	ハクレン	3	ハクレン	8	ハクレン	1	ニゴイ	2	ニゴイ	4	ニゴイ	2	マルタ	2	ハクレン	13	ニゴイ	8	ニゴイ	5	ハクレン	5	ハクレン	1
	モツゴ	5	ハクレン	2	スズモロコ	76	ハクレン	4	ツチフキ	1	コイ	6	ウグイ	9	ハクレン	7	モツゴ	39	ギンブナ	11	モツゴ	25	コイ	5	コイ	3	コイ	11	ハクレン	1	モツゴ	3	コイ	8	コイ	9	モツゴ	5	モツゴ	101		
	ニゴイ	11	モツゴ	16	ニゴイ	7	モツゴ	種数	スズモロコ	1	ギンブナ	7	マルタ	1	モツゴ	44	スズモロコ	3	ボラ	1	スズモロコ	4	ギンブナ	3	ギンブナ	6	ギンブナ	6	モツゴ	143	ニゴイ	7	ギンブナ	6	ギンブナ	15	ニゴイ	5	スズモロコ	1		
	コイ	39	スズモロコ	18	コイ	34	カマヅカ	1	ニゴイ	2	ギンブナ	1	コクレン	1	ニゴイ	5	コイ	16	カムルチー	1	ニゴイ	8	ギンブナ	8	ギンブナ	12	ギンブナ	10	ニゴイ	3	コイ	2	ギンブナ	6	ギンブナ	9	ギンブナ	2	ニゴイ	13		
	ギンブナ	2	ニゴイ	9	ギンブナ	6	ニゴイ	種数	コイ	8	スズキ	2	ニゴイ	15	コイ	3	コイ	2	スズキ	5	コイ	3	ボラ	21	タイリクバラナダ	1	タイリクバラナダ	41	コイ	2	ギンブナ	7	ボラ	19	ボラ	21	ギンブナ	1	コイ	3		
	ギンブナ	17	コイ	15	ギンブナ	113	コイ	11	ギンブナ	17	マハゼ	6	ギンブナ	7	ギンブナ	1	ギンブナ	6	ビリンゴ	2	ギンブナ	15	スズキ	8	ボラ	26	メダカ	20	ギンブナ	1	ギンブナ	9	スズキ	20	スズキ	17	ボラ	14	ギンブナ	3		
			ギンブナ	6	ボラ	3	ギンブナ	11	ギンブナ	6		ギンブナ	22	ギンブナ	16	ギンブナ	12	マハゼ	35	ギンブナ	6	スマチチブ	2	スズキ	8	ボラ	37	ギンブナ	12	ボラ	63	ヒヤラギ	13	マハゼ	48	スズキ	9	ギンブナ	2			
			ギンブナ	14	スズキ	2	ギンブナ	17	種数	ボラ	3		ギンブナ	14	ギンブナ	11	ゼニタナゴ	1		メダカ	70	シモフリシマハゼ	2	ブルーギル	1	スズキ	10	メダカ	96	スズキ	22	クロダハゼ	2		ヒヤラギ	23	ボラ	18				
			ボラ	2	マハゼ	2	タイリクバラナダ	種小	シモフリシマハゼ	1		ボラ	19	ボラ	1	ボラ	1			ボラ	7	マハゼ	166	スマチチブ	9	ギンブナ	13	ヒヤラギ	1	スマチチブ	1					スマチチブ	6	スズキ	10			
			マハゼ	35	キングギョ	1	メダカ	種小	マハゼ	83		ドジョウ	1	シモフリシマハゼ	1	スズキ	2			スズキ	3	ノノシロ	4	シモフリシマハゼ	6	スズキ	4	スマチチブ	2	マハゼ	28					マハゼ	52	ヒヤラギ	53			
												ナマス	1	マハゼ	25	スマチチブ	10			ブルーギル	1		ビリンゴ	9	マハゼ	157	ブルーギル	2	シモフリシマハゼ	1	コノシロ	7					マハゼ	2	マハゼ	2		
												スズキ	1	キングギョ	1	マハゼ	231			シミヤサキ	2		マハゼ	42	キングギョ	1	スマチチブ	7	ウネゴリ(淡水魚)								コノシロ	6	マハゼ	53		
												ブルーギル	3							スマチチブ	5																	コノシロ	1			
												シモフリシマハゼ	1							シモフリシマハゼ	4																					
												マハゼ	76							マハゼ	2																					
												モツゴ	多数							モツゴ	多数																					
												コイ	多数							コイ	多数																					
	計	9種類122尾	13種類135尾	13種類251尾	17種類61尾	13種類131尾	9種類35尾	20種類177尾	15種類120尾	15種類341尾	10種類120尾	19種類318尾	13種類241尾	15種類127尾	15種類371尾	16種類339尾	17種類253尾	14種類145尾	10種類169尾	15種類141尾	16種類276尾																					
隅 田 川				コイ	1	コイ	1				ギンブナ	1							コイ	6	マルタ	3	ハス	1	コイ	3	モツゴ	1	マルタ	8	マルタ	3	ワカサギ	1	マルタ	8	コイ	9	コイ	6	ワカサギ	1
計				1種類1尾	1種類1尾						1種類1尾								1種類6尾	4種類7尾	6種類9尾	1種類3尾	3種類15尾	5種類20尾	2種類6尾	6種類17尾	4種類32尾	3種類22尾	3種類13尾										7種類21尾			
新河岸川	コイ	4	ギンブナ	1	モツゴ	1	コイ	2	モツゴ	2	コイ	3	コイ	3	モツゴ	12	コイ	12	コイ	3	モツゴ	12	コイ	3	ハス	1	ニゴイ	1	マルタ	1	コイ	4	コイ	2	マルタ	1	ニゴイ	3	ニゴイ	3	マルタ	7
	ギンブナ	5			コイ																																					
					ギンブナ	1																																				
					ギンブナ	2																																				
計	2種類9尾	1種類1尾	5種類7尾	1種類2尾	1種類2尾	1種類3尾	2種類4尾	7種類43尾	2種類4尾	4種類17尾	1種類3尾	5種類29尾	4種類12尾	6種類40尾	4種類22尾	4種類10尾	7種類21尾	5種類21尾	3種類16尾	8種類28尾																						
石神井川			モツゴ	2	モツゴ	5	コイ	1				ウグイ	1																													
			コイ	3	コイ	5	ギンブナ	4				ギンブナ	2																													
			ギンブナ	1	ギンブナ	1																																				
			ギンブナ	29	ギンブナ	32																																				
計																																										
合計	9種類131尾	13種類171尾	13種類302尾	17種類6尾	13種類133尾	10種類65尾	20種類182尾多数	18種類197尾	16種類399尾	13種類173尾	21種類373尾	15種類297尾	21種類393尾	17種類477尾	21種類507尾	20種類812尾	19種類270	11種類213尾	19種類191尾	23種類562尾																						

河川名		平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	種類合計(昭和59年度～令和元年度)																		
荒川	ワカサギ	44	ワカサギ	13	ワカサギ	4	マルタ	5	ウナギ	1	ワカサギ	1	ウナギ	1	ワカサギ	2	コノシロ	30	コノシロ	1	コノシロ	65	ウナギ	3	サツバ	2	コノシロ	19	コノシロ	90	サツバ	1	サツバ	ドジョウ		
	マルタ	10	オйкаワ	9	マルタ	5	ワタカ	1	オйкаワ	2	ハス	12	ハス	1	モツゴ	1	モツゴ	8	ウナギ	2	ウナギ	2	ワカサギ	6	コノシロ	2	タモロコ	2	タモロコ	19	コノシロ	ギバチ				
	ハクレン	1	ハス	2	ハクレン	1	ハス	6	ハス	2	マルタ	22	ハクレン	1	ニゴイ	2	タモロコ	1	スズキ	2	スズキ	1	スズキ	1	スズキ	1	スズキ	1	スズキ	1	スズキ	39	カレイ			
	モツゴ	147	マルタ	51	モツゴ	143	モツゴ	86	マルタ	28	マルタ	22	モツゴ	41	マルタ	1	モツゴ	87	モツゴ	28	モツゴ	34	ウナギ	9	スズキ	1	ウナギ	1	ウナギ	1	ウナギ	4	ウナギ	ワカサギ		
	カマツカ	1	ハクレン	2	スズキ	4	ニゴイ	11	タモロコ	1	モツゴ	57	モツゴ	43	ニゴイ	23	ハス	1	ニゴイ	21	ニゴイ	7	ニゴイ	2	モツゴ	11	ニゴイ	8	モツゴ	69	オйкаワ	2	アユ	ボラ		
	スズキ	1	モツゴ	118	ニゴイ	1	ニゴイ	13	モツゴ	78	スズキ	3	スズキ	8	ウナギ	7	ギンナ	47	ウグイ	1	マルタ	18	ツツフキ	2	ニゴイ	8	マルタ	9	ニゴイ	14	ギンナ	15	ワカサギ	カラムシ		
	ニゴイ	9	ツツフキ	1	コイ	9	ツツフキ	65	コイ	9	ニゴイ	10	ギンナ	1	ウグイ	1	ウグイ	18	マルタ	3	マルタ	14	ツツフキ	1	ハス	2	マルタ	6	ウグイ	1	スズキ	スズキ	スズキ			
	コイ	5	スズキ	2	ウグイ	10	ギンナ	65	コイ	4	コイ	7	コイ	5	ウグイ	1	ウグイ	2	ハス	12	オйкаワ	8	マルタ	36	ギンナ	38	オйкаワ	1	コイ	1	スズキ	スズキ	スズキ			
	ウグイ	2	ニゴイ	11	ギンナ	13	ウグイ	4	ウグイ	3	ウグイ	7	ウグイ	17	ウグイ	9	ギンナ	13	ギンナ	4	ハス	1	オйкаワ	6	ウグイ	3	ギンナ	15	ウグイ	30	ギンナ	15	スズキ	キチヌ		
	ギンナ	2	コイ	3	ウグイ	1	ウグイ	7	ギンナ	64	ギンナ	38	ギンナ	33	ウグイ	55	ボラ	15	ウグイ	3	ウグイ	1	ハクレン	2	ハス	3	コイ	7	ウグイ	5	ウグイ	42	ニゴイ	ブルーギル		
	ウグイ	3	ウグイ	2	メダカ	4	ボラ	33	ウグイ	27	ウグイ	34	ウグイ	53	ウグイ	2	コイ	6	コイ	3	ギンナ	17	ハクレン	4	ウグイ	89	ウグイ	35	ボラ	44	カマツカ	オオクチバ	オオクチバ	オオクチバ		
	ボラ	39	ギンナ	10	ウグイ	41	スズキ	28	ボラ	46	ウグイ	5	メダカ	7	ボラ	70	カマツカ	2	ウグイ	4	ウグイ	3	ギンナ	35	ギンナ	3	ギンナ	35	ギンナ	3	ギンナ	27	ツツフキ	ツツフキ		
	スズキ	7	アユ	1	ボラ	70	ブルーギル	1	カラムシ	6	ボラ	60	カラムシ	11	カラムシ	94	スズキ	95	メダカ	1	メダカ	2	コイ	11	ウグイ	3	ウグイ	69	ボラ	8	ブルーギル	6	ウグイ	ヒラギ		
	オオクチバ	2	ウグイ	1	スズキ	16	スズキ	3	スズキ	56	スズキ	20	ボラ	26	スズキ	14	ブルーギル	16	カマツカ	1	ウグイ	8	コイ	5	ボラ	97	スズキ	78	オオクチバ	1	マルタ	シマイサキ	シマイサキ			
	ブルーギル	9	メダカ	8	オオクチバ	5	スズキ	25	ブルーギル	16	オオクチバ	1	スズキ	26	ブルーギル	7	ヒラギ	45	ウグイ	5	ボラ	59	ウグイ	4	ウグイ	11	スズキ	50	ブルーギル	24	ヒラギ	14	オйкаワ	コトヒキ		
	シマイサキ	1	ウグイ	3	ブルーギル	10	ドジョウ	1	ヒラギ	1	ブルーギル	4	ブルーギル	6	ヒラギ	4	シマイサキ	1	ボラ	308	スズキ	13	ボラ	4	メダカ	1	ブルーギル	7	ヒラギ	22	アベハゼ	4	ハス	アベハゼ		
	スズキ	7	ボラ	91	アベハゼ	1	マハゼ	71	シマイサキ	2	ヒラギ	2	ヒラギ	238	シマイサキ	1	アベハゼ	4	スズキ	104	ブルーギル	6	スズキ	13	ウグイ	7	ヒラギ	5	シマイサキ	2	クロダハゼ	1	ウナギ	ウナギ		
	マハゼ	29	スズキ	8	スズキ	4	ヨシノボリ	1	スズキ	8	クロダハゼ	1	シマイサキ	2	シマイサキ	3	シマイサキ	14	コクチバシ	1	ブルーギル	6	ボラ	25	アベハゼ	23	アベハゼ	11	シマイサキ	44	ウグイ	コクチバシ	コクチバシ	コクチバシ		
	ヨシノボリ	68	オオクチバ	1	マハゼ	28	シマイサキ	1	シマイサキ	1	シマイサキ	1	シマイサキ	1	シマイサキ	1	シマイサキ	1	シマイサキ	1	シマイサキ	1	シマイサキ	1	シマイサキ	1	シマイサキ	1	シマイサキ	1	シマイサキ	1	シマイサキ	1	シマイサキ	シマイサキ
	計	19種類389尾	27種類438尾	20種類376尾	17種類359尾	22種類492尾	23種類363尾	25種類691尾	23種類377尾	20種類445尾	27種類758尾	25種類406尾	23種類254尾	30種類361尾	23種類572尾	24種類521尾	21種類328尾	56種類																		
		コイ	1	マルタ	3	ボラ	2	ハクレン	1	マルタ	1	ハクレン	2	コイ	4	スズキ	3	コノシロ	9	コノシロ	19	ハス	1	ニゴイ	1	サツバ	1	サツバ	9	サツバ	2	ニゴイ	1	サツバ	ボラ	
		ボラ	5	カマツカ	1			ニゴイ	1	コイ	1	ニゴイ	3			ウナギ	1	ニゴイ	5	スズキ	3	ウグイ	1	ギンナ	2	コノシロ	6	コノシロ	17	マルタ	3	コノシロ	スズキ			
		マハゼ	9	ニゴイ	1			ボラ	1	ボラ	1	マハゼ	1			マルタ	1	マルタ	2	マハゼ	1	スズキ	1	ギンナ	1	マルタ	1	マルタ	6	ギンナ	1	ウナギ	ギンナ			
		コノシロ	6	ウグイ	3			アベハゼ	2	マハゼ	2					ボラ	1	ギンナ	2	マハゼ	2	ボラ	1	ハクレン	1	ハクレン	1	ハクレン	1	ウグイ	2	ウグイ	ワカサギ			
								マハゼ	1	アベハゼ	1					スズキ	9																			
							マハゼ	1	アベハゼ	1					スズキ	2																				
							マハゼ	1	アベハゼ	1					スズキ	2																				
							マハゼ	1	アベハゼ	1					スズキ	2																				
							マハゼ	1	アベハゼ	1					スズキ	2																				
隅田川	コイ	1	マルタ	3	ボラ	2	ハクレン	1	マルタ	1	ハクレン	2	コイ	4	スズキ	3	コノシロ	9	コノシロ	19	ハス	1	ニゴイ	1	サツバ	1	サツバ	9	サツバ	2	ニゴイ	1	サツバ	ボラ		
	ボラ	5	カマツカ	1			ニゴイ	1	コイ	1	ニゴイ	3			ウナギ	1	ニゴイ	5	スズキ	3	ウグイ	1	ギンナ	2	コノシロ	6	コノシロ	17	マルタ	3	コノシロ	スズキ				
	マハゼ	9	ニゴイ	1			ボラ	1	ボラ	1	マハゼ	1			マルタ	1	マルタ	2	マハゼ	1	スズキ	1	ギンナ	1	マルタ	1	マルタ	6	ギンナ	1	ウナギ	ギンナ				
	コノシロ	6	ウグイ	3			アベハゼ	2	マハゼ	2					ボラ	1	ギンナ	2	マハゼ	2	ボラ	1	ハクレン	1	ハクレン	1	ハクレン	1	ウグイ	2	ウグイ	ワカサギ				
							マハゼ	1	アベハゼ	1					スズキ	9																				
							マハゼ	1	アベハゼ	1					スズキ	2																				
							マハゼ	1	アベハゼ	1					スズキ	2																				
							マハゼ	1	アベハゼ	1					スズキ	2																				
							マハゼ	1	アベハゼ	1					スズキ	2																				
							マハゼ	1	アベハゼ	1					スズキ	2																				
新河岸川	マルタ	4	コイ	7	ニゴイ	2	ギンナ	1	マルタ	1	オйкаワ	15	コイ	1	ギンナ	1	ニゴイ	1	コイ	2	オйкаワ	7	マハゼ	2	ボラ	1	スズキ	3	サツバ	1	コイ	1	ボラ	1	サツバ	ギンナ
	コイ	3	タモロコ	1	コイ	1	スズキ	79	ニゴイ	1	マルタ	44	スズキ	6	スズキ	2	マルタ	1	スズキ	2	マハゼ	4	スズキ	51	スズキ	4	コノシロ	46	コイ	1	スズキ	1	コノシロ	ギンナ		
	ウグイ	3	ウグイ	2	スズキ	32	スズキ	13	マハゼ	1	ボラ	2	ニゴイ	2	スズキ	16	スズキ	3	スズキ	16	スズキ	1	スズキ	1	スズキ	1	スズキ	1	スズキ	1	スズキ	1	スズキ	スズキ		
	ボラ	4	スズキ	2	スズキ	13	マハゼ	6	スズキ	16	スズキ	3	コノシロ	2	スズキ	1	スズキ	1	スズキ	1	スズキ	1	スズキ	1	スズキ	1	スズキ	1	スズキ	1	スズキ	1	スズキ	スズキ		
	スズキ	3	スズキ	68	マハゼ	2																														
	ブルーギル	1	シマイサキ	6																																
	マハゼ	15	マハゼ	6																																
	コノシロ	22																																		
	計	8種類53尾	7種類159尾	5種類50尾	4種類87尾	7種類25尾	6種類72尾	4種類12尾	3種類19尾	8種類31尾	4種類12尾	2種類6尾	3種類53尾	3種類21尾	6種類66尾	6種類16尾	5種類12尾	20種類																		
		アブラハヤ	2	オйкаワ	25	オйкаワ	31	オйкаワ	60	オйкаワ	2	オйкаワ	73	オйкаワ	19	オйкаワ	31	タモロコ	15	アユ	1	モツゴ	3	タモロコ	5	タモロコ	38	タモロコ	10	タモロコ	46	タモロコ	8	コノシロ	ドジョウ	
モツゴ		88	アブラハヤ	33	マルタ	2	アブラハヤ	81	アブラハヤ	77	アブラハヤ	202	マルタ	6	アブラハヤ	120	モツゴ	94	タモロコ	10	アブラハヤ	58	モツゴ	16	モツゴ	160	モツゴ	33	モツゴ	93	モツゴ	11	アユ	シマドジョウ		
コイ		75	タモロコ	5	アブラハヤ	121	タモロコ	8	モツゴ	111	モツゴ	52	アブラハヤ	6	タモロコ	9	アブラハヤ	68	モツゴ	50	マルタ	1	ニゴイ	2	ニゴイ	1	ニゴイ	1	アブラハヤ	353	アブラハヤ	47	タモロコ	ギバチ		
ウグイ		9	モツゴ	74	タモロコ	12	モツゴ	106	コイ	2	コイ	9	タモロコ	1	モツゴ	1	モツゴ	9	オйкаワ	27	アブラハヤ	164	オйкаワ	3	アブラハヤ	288	アブラハヤ	261	アブラハヤ	3	マルタ	2	モツゴ	モツゴ		
ギンナ		3	コイ	1	モツゴ	88	コイ	4	ドジョウ	19	コイ	1	モツゴ	5	ニゴイ	1	ギンナ	17	マルタ	3	ドジョウ	21	ウグイ	1	ウグイ	1	ウグイ	1	ウグイ	49	ウグイ	8	ニゴイ	モツゴ		
ドジョウ		33	ギンナ	4	コイ	3	コノシロ	2	ギンナ	2	ニゴイ	1	コイ	3	ウグイ	1	コイ	24	シマドジョウ	1	オйкаワ	105	オйкаワ	73	ギンナ	12	ギンナ	1	ギンナ	1	オйкаワ	102	アブラハヤ	グッピー		
メダカ		12	ドジョウ	140	ウグイ	6	ギンナ	8	ヨシノボリ	3	ドジョウ	22	ギンナ	1	コイ	1	ギンナ	12	ギバチ	1	ギンナ	1	ギンナ	1	コイ	1	ギンナ									

※前頁で付番されていないものは、種類数から除いています。

【河川水質の経年変化（年平均値）】





【北区を流れる河川の環境基準】

類型	該当河川	基準値			
		水素イオン濃度 (pH)	生物化学的溶存酸素量 (BOD)	浮遊物質 (SS)	溶存酸素量 (DO)
B	石神井川	6.5以上 8.5以下	3mg / L 以下	25mg / L 以下	5mg / L 以上
C	荒川 隅田川 新河岸川	6.5以上 8.5以下	5mg / L 以下	50mg / L 以下	5mg / L 以上

※類型は東京都告示第 463 号（平成 29 年 3 月 17 日）により指定されている。

- 水素イオン濃度（pH）：
液体が酸性であるかアルカリ性であるかを示す指標。0 から 14 の間の数値で表現されています。pH7 が中性、小さくなるほど酸性、大きくなるほどアルカリ性であることを表しています。
- 生物化学的酸素要求量（BOD）：
水中の汚濁物質の量について、それが微生物によって酸化分解される際に必要とされる酸素の量をもって表したものの。値が大きくなるほど汚濁が進んでいることを示します。水質環境基準の代表的なもので、主に河川の有機性汚濁物質による水質汚濁指標として用いられています。
- 浮遊物質（SS）：
水中に浮遊して溶解しない物質の総称で、水の汚濁状況を示す重要な指標のひとつ。河川に SS が多くなると、光の透過を妨げ、自浄作用を阻害し、魚類に悪影響を及ぼします。また、沈降堆積すると、川底の生物にも悪影響を及ぼします。
- 溶存酸素量（DO）：
水中に溶解している酸素のこと。酸素のない川や少ない川はいわば死んだ川で、魚類は生存できません。



北区河川生物生息調査報告書

令和2年3月発行

刊行物登録番号

31-1-148

発行／北区生活環境部環境課

〒114-8508

東京都北区王子本町 1-15-22

TEL 03 (3908) 8618 (直通)